



今月は放射線科が担当いたします！



お腹の働き者たち ～**肝臓**・**胆のう**・**膵臓**の役割と代表的な疾患について～

肝臓の主な働き

栄養の代謝・貯蔵 … 血液内の栄養を代謝し、必要なものは貯蔵、不要なものは腎臓や腸から排泄します。

アルコールや薬剤の … アルコールや薬物の分解中に発生する有毒物質を、毒性の低い物質に変えて

分解・解毒作用 排泄します。→**アルコールを頻繁に摂取すると、肝臓細胞は脂肪に変質していきます。**

胆汁の生成・分泌 … 胆汁は脂肪の分解には欠かせない物質で、肝臓で作られています。

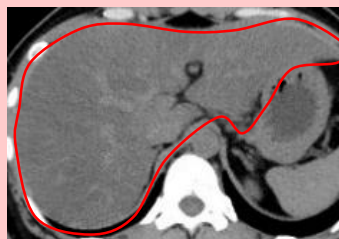


病変その①…脂肪肝・肝硬変

脂肪肝とは、肝臓が過剰に脂肪化してしまった状態のことを言います。この状態までは、根本原因を改善すると、通常の肝臓に戻りますが、**進行して肝硬変になると、線維化し、元の肝臓に戻ることはありません。アルコールと生活習慣・肥満が大きな原因となります。また、肝硬変になることで、肝癌になる可能性も上がってしまいます。**



正常肝のCT画像
※辺縁がキレイで白色



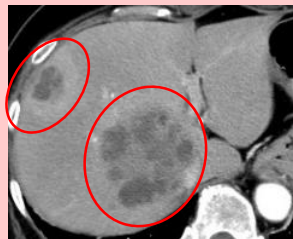
脂肪肝のCT画像
※脂肪化で黒色だが、辺縁はキレイ



肝硬変のCT画像
※線維化で更に黒色になり、辺縁がガタガタ

病変その②…肝癌

肝硬変、慢性肝炎、B型肝炎、C型肝炎の方が発症しやすいです。また、肝臓は血管が豊富にあるため、大腸癌などから血流に乗って、転移性肝癌が発生することもあります。



肝癌の造影CT画像
※肝癌では腫瘍の種類によって、造影のされ方が異なるので、造影CT検査で精査されることが多い

→ 裏面では胆のうと膵臓の働きや主な疾患についてご説明します！



vol.68/1月号

発行/地域医療連携室

後援/せたな町



病院公式SNSも
ご登録ください😊

今月のひとさら

フルーツでカプレーゼ

今月の担当:管理栄養士 相原 雅樹

今月はイタリア料理からカプレーゼを

- ・フルーツで作るちょっと変わったレシピを
- ・紹介します。写真はラフランス(洋梨)で作っています。



材料(4人分)

- ★好きな果物(みかんの輪切りやキウイなど) みかんでは3個分
- ★モッツアレラチーズ 100g
- ★生ハム 7枚程度
- ・塩 2つまみ程度 胡椒 適量
- ・オリーブオイル 適量

- ①★の材料を一口大サイズにカット(断面に凹凸がつくと味が乗ります)
- ②切った食材にボウル入れ、塩・胡椒・オリーブオイルを混ぜ合わせる。果物の甘さが引き立つ程度の塩加減です。
- ③きれいに盛り付けて完成。

【公開医療講座のご案内】

日時:1月22日(木)15:00~16:00

場所:道南ロイヤル病院会議室

テーマ:「心不全について」

講師:看護師 大野 恵輔

※お電話にてご予約下さい。

(☎84-5011)

※当日参加も受け付けています。



【皮膚科外来診療のご案内】

<2026年1月>

日にち	午前診療	午後診療
9日(金)		14:00~16:00 *病棟回診後
10日(土)	8:30~11:30	
23日(金)		14:00~16:00 *病棟回診後
24日(土)	8:30~11:30	

※1月は変則となっています。

胆のうの主な働き

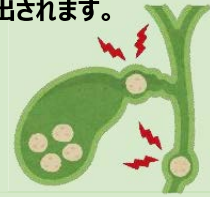
胆汁の貯蔵 … 肝臓で作られた胆汁は、総胆管を経て、胆のうに貯蔵され、5～10倍の濃度に濃縮されます。

→胆のう内で濃縮されていることにより、胆汁の働きが強くなります。

胆汁の排出 … 胃に食物が入ると、十二指腸より指令が届き、胆のうが収縮することにより、胆汁が排出されます。

→結石などの異物で排出が阻害されると、急性胆のう炎などを引き起こします。

胆汁による … 胆汁の主成分である胆汁酸は、脂肪を分解しやすい形に変える作用があり、
消化促進 … 消化の手助けを行っています。



病変その①…胆のう結石

胆汁の成分が固まって、石のようになったものを言います。

胆石が発生しやすい方の特長として、4Fというものがあり、
「Female(女性)」、「Fourty(40代)」、「Fatty(肥満)」、「Fertile(多産)」
の頭文字を取ったものです。

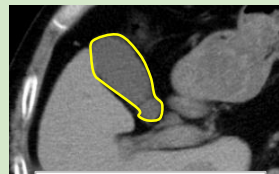


胆のう結石のCT画像
※黄色枠で囲った部分が胆のう。
中の白いつぶつぶが胆のう結石。
発生しただけでは、問題はないが、
管に詰まると、炎症などを起こす。

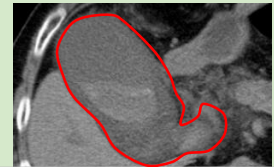
病変その②…急性胆のう炎

胆のう結石が胆のう管(胆のうの先にある管)や
総胆管(十二指腸に繋がる管)の中で引っかかると、
胆汁が詰まってしまう、急性胆嚢炎を起こしてしまいます。

また、胆のう管や総胆管に癌ができて、発症することもあります。



正常胆のうのCT画像



急性胆のう炎のCT画像
※炎症を起こし、正常の何倍も腫れている状態

膵臓の主な働き

膵液の生成・排出 … 膵液は三大栄養素(タンパク質・脂質・炭水化物)のすべてを消化できる酵素を含んだ、
とても強力な消化液です。胆汁と混ざり、食物の消化を助けています。

→アルコールを一度に多量に摂取すると、膵臓を痛めつけてしまったり、膵液が多量に分泌され、
膵臓自体を消化してしまいます。これが急性膵炎の一番の原因となります。

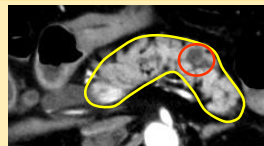


内分泌液の … 膵臓では、グルカゴン(血糖値を上げる働き)、インスリン(血糖値を下げる働き)などが分泌され、
生成・分泌 … 血糖値の調整を行っています。

→膵臓の機能が悪くなってしまうと、インスリンなどの分泌が阻害され、血糖値が高いままとなってしまいます。
生活習慣病から発生するものを、2型糖尿病と言います。

病変その①…腫瘍性膵のう胞(IPMN)

一見、ただの水ぶくれに見えますが、大きくなり過ぎたり、多発し過ぎると、
癌化のリスクが高くなり、切除手術が必要になります。



腫瘍性膵のう胞のCT造影画像
※黄色枠で囲った部分が膵臓。
中の赤枠で囲った部分がIPMN。
悪性化することが多いので、サイズと個数に注意。

病変その②…膵臓癌

早期は症状が出にくいので、
発見時には進行していることが多く、予後は不良と言われています。



膵臓癌のCT造影画像
※黄色枠で囲った部分が膵臓全体。
中の赤枠で囲った部分が腫瘍部。

今回ご紹介した病変は、暴飲暴食・アルコール過剰摂取、肥満などが発生の大きなリスクとなります。また、肝臓・胆のう・膵臓は「沈黙の臓器」と言われており、症状が出て検査を行った時には、すでに進行していることがほとんどです。早期発見がとても大事なため、定期的な検診や検査を行うようにしましょう。また当院では、腹部CT健診・エコー健診、各種血液検査を行っていますので、気になる方はぜひお問い合わせください。

検査科からの豆知識！：ノロウイルス対策での手指消毒

冬場はウイルス性の食中毒が増加します。その中でも圧倒的に多いのがノロウイルスによる食中毒です。そのノロウイルス、アルコール消毒が有効ではないと言われていて基本的には次亜塩素酸ナトリウムでの消毒になります。ただし、手指の場合は次亜塩素酸ナトリウムが手荒れの原因などになり使用を避けるべきとされています。では、どのように手指消毒を行うか？

→ まず、十分に石鹸で手の付着物を取り、さらに流水で洗い流します。そしてアルコール消毒を長め(推奨30秒以上)に手指の全体に万遍なく広げていきます。
そうするとアルコール消毒の有効度は少しでも上がるとされています。

